

平成25年度

# 農業振興公社ニュース

第22号

## 「平成25年度 みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」が閉講

(11月1日(金) 主催:公社、共催:県立図書館)

6次産業化を目指す人材育成を目的としたチャレンジ塾は、農林漁業者等を対象にした「グローバル農業法人育成コース」の27名、6次化の支援者を対象にした「6次化推進プロデューサー育成コース」の19名の受講生を迎え、8月20日から34講座を実施し、11月1日に県立図書館において閉講式を行いました。講座を通じて塾生同士のネットワークも育まれ、閉講式でのビジネスプラン発表会では、塾生同士の連携した商品開発や取組の提案がなされるなど、今後の6次産業化へ向けたそれぞれの展開が期待されます。平成26年度も開講予定ですので、6次産業化を目指す農林水産業者の方や支援者を目指す方は、ぜひチャレンジしてください！



受講生は各自のビジネスプランを発表



受講生に修了証を授与



みやざき6ジカ

## 六次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画を新たに9件認定

この度、六次産業化・地産地消費に基づく9件の総合化事業計画が国（農林水産大臣認定）の認定を受け、九州農政局宮崎、延岡地域センターにおいて認定証の交付式が開催されました。これにより本県は平成23年度からの累計59件の計画が認定され、九州で2位、全国で5位（研究開発・成果利用事業計画を除く）の認定件数となり、ますますの6次産業化への推進が期待されます。公社は、本県の6次産業化サポートセンターとして、総合化事業計画の認定に向けた計画策定の支援や認定後の計画実現に向けたフォローアップ支援を行っております。



○宮崎地域センターでの交付式(11/13:5件)

(前列左より)㈱ジエイエフズ 宮崎、大前氏。前列右より)有田牧畜産業、3番目が)岡崎牧場。右上枠内は)八洋。)



○延岡地域センターでの交付式(11/15:4件)

(左より)亀長氏、田口氏、㈱英楽、㈱宮崎茶房)

## 「みやざきフードビジネス推進大会(仮称)」の開催について

宮崎県は、平成25年3月に「みやざきフードビジネス振興構想」を策定し、関係機関・団体等とともに構想実現に向けた取り組みを推進しております。公社はフードビジネスの一つである6次産業化を更に推進するため、「みやざきフードビジネス推進大会」を県と共催して開催し、これまでの取組及び今後の展開方向について、県民及び関係機関・団体等が意識を共有する機会とします。

- (1) 主 催 宮崎県
- (2) 共 催 公益社団法人 宮崎県農業振興公社
- (3) 日 時 平成26年2月3日(月) 10:00~12:15
- (4) 場 所 シーガイアコンベンションセンター 4F 天瑞
- (5) 参集範囲 農林漁業者、食品製造業者、農林水業関係団体、商工団体、金融機関、大学、農業・商業・水産高校、行政関係者、県民 等 約500名
- (6) 内 容 ①主催者挨拶 ②来賓挨拶 ③フードビジネス実践者によるパネルディスカッション  
④記念講演 ⑤フードビジネス推進の誓い
- (7) その他 ①フードビジネス実践事例等紹介ブース(9:30~17:00)  
(同時開催) ②みやざきの食品産業マッチング会(12:00~17:00)

## 「のべおか6次産業化・農商工連携研修会」の開催

延岡市は、地域資源を有効に活用した、農商工各分野の連携を更に強化し、延岡地域の総合的な活性化を図るために、農林漁業者や食品事業者及び関係者等を対象にした研修会を11月28日(木)「カルチャープラザのべおか」において開催しました。

研修会においては、2人の講師より食資源等を活かした現場からの地域再生やプロデュースの事例等の基調講演があり、約300名の参加者は熱心に聴講していました。また、講演終了後は、農商工連携・6次産業化への個別相談会が開催され、公社も6次産業化地域相談員と6次産業化に関する相談会を実施しました。



熱心な6次産業化への相談

- (1) 内 容
  - ①講演内容 ア) 6次産業化・農商工連携～地域再生の現場から～  
イ) 地域食資源のプロデュース～私の担当案件から～
  - ②事例発表 「延岡市における6次産業化・農商工連携について」
  - ③個別相談会

## 「みやざきフードビジネス相談ステーション」の開設

(公財)宮崎県産業振興機構は、フードビジネスに取り組む方々が課題解決の糸口を見いだす支援をするために、JR宮崎駅西口の宮崎グリーンズフィア壱番館(KITEN)3階のみやざき県民協働支援センター内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」を開設しました。この相談ステーションは、フードビジネスに係る「新商品の開発」「農商工連携」「デザイン」「ホームページの活用」「補助事業」等の相談に対し、各分野の専門家が課題解決のアドバイスを行います。6次産業化の相談の場合は、公社も「みやざき6次産業化サポートセンター」として同席します。

- (1) 場 所 宮崎グリーンズフィア壱番館(KITEN)3F(宮崎駅西口)みやざき県民協働支援センター内
- (2) 受付時間 平日9時~17時(12時~13時は除く)
- (3) 相 談 日 火曜日~金曜日(10時~17時)(※祝祭日は除く。月曜日が祝祭日の場合は火曜日も休み。)
- (4) 連絡窓口 0985-89-4452 (電話による事前予約が必要です。)

【新農業支援課】



## 新規就農・農業就職相談会について

宮崎県新規就農相談センター(当公社・県農業会議・JA宮崎中央会)では、農業・農村に興味を持ち就農・就職を希望する方々が、理解、知識を深め、県内各地で就農・就職の場が広がることを目的に標記相談会を、10月6日(日)に県職員健康プラザで開催しました。

開催前は台風24号の接近が心配されましたが、無事に開催することができました。

相談会では、「就農・就職総合相談」、「研修・就農支援制度相談」、「農地・ハウス・機械相談」、「先進農家相談」のコーナーを設け、自営就農や他産業からの農業参入に関する相談を受けました。また、農業法人への就職については、10戸の農業法人等の代表者や人事担当者ハローワークの農林漁業就職支援担当者に、会社説明や個別相談等の対応をしていただきました。

当日の来場者は71名で、このうち、就職採用または採用予定になった方が5名、研修を開始した方が1名の状況です。また、短期農業体験希望等、その他の相談に対しても継続的に対応を行っています。



会場全体の相談コーナー設置状況



就農相談の様子

## 新・農業人フェアの開催

11月26日に東京で開催された新・農業人フェア(リクルートジョブズ主催)に参加しました。新・農業人フェアは、各都道府県新規就農相談窓口や、農業法人等がブースを出展し、全国の就農情報を得られる場となっており、毎年8回程度各地で開催されています。当公社からも、今年度は東京に3回、大阪に1回ブースを出展し、39組の相談を受けました。

さらに、県中山間地域政策課主催の宮崎県移住相談会(東京10月19日、大阪11月2日)にも参加し、就農を絡めた宮崎県への移住について15組の相談対応をいたしました。

今後、愛知県、東京都、大阪府の新・農業人フェアに参加する予定です。日程は後述の行事予定のとおりです。県外在住の方から就農相談を受けられた際には、これらの相談会のご案内をよろしくお願いいたします。



宮崎県のブースで相談対応

【担い手支援課】

## 新規職員の紹介



加藤研悟  
就農コーディネーター



橋口哲夫  
6次産業化コーディネーター

公社では、11月から、加藤研悟さんを担い手支援課の「就農コーディネーター」、橋口哲夫さんを新農業支援課の「6次産業化コーディネーター」として採用しました。

お二人はいずれも、農業高校の校長を経験されており、教え子が県内各地で活躍していることから、幅広い人脈を武器に、新規就農や6次産業に向けた相談業務に大きく貢献していただけるものと考えています。よろしくお願いいたします。

【担い手支援課、新農業支援課】



シリーズ ～「農・この人」～

今回は、宮崎市佐土原町でハウスしょうがを中心に農業を展開されている「福田誠」さんを紹介しします。

福田さんは昭和21年生まれの67才で、現在では佐土原町を中心にハウスしょうが540a、露地しょうが250a、テッポウユリ60a、ピーマン・ミニトマト各20aを栽培されており、農地保有合理化事業を使いながら順調に経営規模を拡大されてきました。またしょうがの電照栽培技術や高度な温度管理、水分・施肥管理等独自の技術改良を行っておられ、しょうがの周年出荷を可能にして、現在周年雇用約35名で、地域の産業にも貢献されています。また県内外からの実習生の受け入れも行われ、福田さんから技術を学んだ生徒たちが各地で独立しているそうです。

長男さんは既に独立され、現在は次男さん夫婦と一緒に営農されていますが、いずれは独立するということでした。また、趣味は大型バイクで前回はアメリカ大陸を横断され、次はオーストラリア大陸を計画中的のことでした。

【農地課】

畜産環境整備事業(ストックマネジメント事業)について

本事業は、県内の主要な畜産地域にある、経年的な劣化等により建屋の腐食並びに処理機械等の腐食や摩耗が進んでいる状況の公共家畜排せつ物処理施設について、将来的に整備を必要とする処理施設の事業実施計画(機能診断調査)を基に計画的な補修、補強を行うことで、維持管理コストの低減、施設の長寿命化を図るための整備(機械保全対策工事)を目的とした事業です。

本年度は国富町のクリーンセンターの保全対策工事を実施しており、来年度以降延岡市の有機肥料センター並びに串間市のJA大東堆肥センターの整備を実施予定であります。

補助の採択要件

事業内容	要件	補助率(%)
スtockマネジメント事業 ・機能保全計画策定 ・機能保全対策工事	・市町村、農協が所有している家畜排せつ物処理施設であり、かつ地域において、家畜ふん尿の処理利用の中核的な機能を有している大規模な堆肥センターを対象とする。 ・既存施設を有効利用すると認められる場合であって、施設機能の向上を主な目的としないものであること。 ・機能保全計画を策定し、機能保全対策を実施すること。 ・機能保全計画に基づく対策工事であること。	計画策定施設整備  国 50%以内

【畜産施設課】

主な行事予定

1/11(土)	新・農業人フェア	愛知県:名古屋国際会議場	担い手支援課
1/16(木) ~17(金)	平成25年度 海外輸出商談スキルアップセミナー	宮崎市:宮崎観光ホテル	新農業支援課
1/23(木)	みやざき6次産業化ミニチャレンジ塾	高千穂町:西臼杵農業改良普及センター	新農業支援課
1/24(金)	みやざき6次産業化ミニチャレンジ塾	日向市:東臼杵南部農業改良普及センター	新農業支援課
1/29(水)	宮崎市みやざき食の展示商談会	宮崎市:ホテルニューウェルシティ宮崎	新農業支援課
2/2(日)	新・農業人フェア	東京都:東京国際フォーラム	担い手支援課
2/3(月)	みやざきフードビジネス推進大会 みやざき食品産業マッチング大会2014	宮崎市:シーガイア コンベンションセンター	新農業支援課
2/26(水)	みやざき農工商連携・6次産業化・食品産業求評会2014	宮崎市:宮崎観光ホテル	新農業支援課
3/1(土)	新・農業人フェア	大阪府:大阪会館	担い手支援課

発行

公益社団法人 宮崎県農業振興公社 〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14

TEL (0985) 51-2011 FAX (0985) 51-8006 <http://www.mnk.or.jp/>